

## 平成28年11月に改正港則法が一部施行され、「雑種船」が「汽艇等」となり、対象範囲が変更されます。

### 雑種船の名称及び対象範囲の変更（港則法第3条第1項）

#### 【改正前】

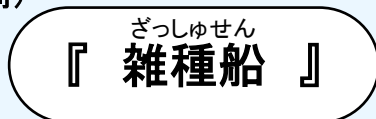
この法律において、「**雑種船**」とは、**汽艇**、はしけ及び端舟その他ろかいのみをもって運転し、又は主としてろかいをもって運転する船舶をいう。



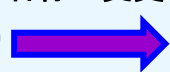
#### 【改正後】

この法律において、「**汽艇等**」とは、**汽艇（総トン数20トン未満の汽船をいう。）**、はしけ及び端舟その他ろかいのみをもって運転し、又は主としてろかいをもって運転する船舶をいう。

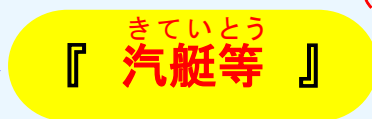
（改正前）



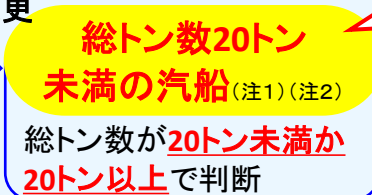
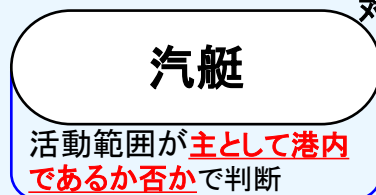
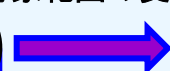
名称の変更



（改正後）



対象範囲の変更



対象がより明確になります

（注1）「汽船」は動力船の総称です。

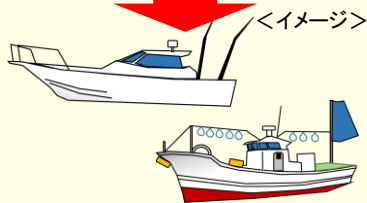
（注2）長さには関係なく、総トン数が20トン以上であれば、「汽艇等」には含まれません。

この改正により、主として港外で活動していた総トン数20トン未満の動力船（プレジャーボート、漁船等）が、港内を航行するときは、「**汽艇等**」となります。

### 新たに「汽艇等」になる船舶に関連する港則法のルール

「**汽艇等**」となる船舶に以下のルールが適用されます。

#### 【新たに「汽艇等」となる船舶】



※主として港外で活動していた総トン数20トン未満の船舶（プレジャーボート、漁船等）

#### ・港内での避航義務（港則法第18条）

狭い港内では運動性能が悪く操船範囲が限られる大型の船舶を、操船自由度の高い**小型の船舶**が避けなければなりません。

#### ・みだり係留の禁止（港則法第9条）

係船浮標や貨物船など大きな船舶が着岸する公共岸壁などへ**正当な理由なく係留することは禁止**されます。

【お問い合わせ先】 ※最寄の海上保安部又は管区海上保安本部にお問い合わせください。

第三管区海上保安本部

交通部 航行安全課 代表 045-211-1118

東京海上保安部 航行安全課 直通 03-5564-2022（2023）